

①ご近所福祉活動報告～第一部～ 発表者紹介

1) 「自治会が行う支え合い活動」 新子安北部自治会 会長 山田 齊 氏

自治会を中心に取組んだ事例。マップ作りの過程で「世話焼きさん」を多数発掘。「世話焼きさん」を貴重な地域福祉の人材ととらえ、その後の見守りや支え合い活動の中心に据えた。

2) 「90歳のおばあちゃんが広げたカラオケの輪」 ミツ沢地区民生委員児童委員協議会 宝地戸 靖 氏

「豊かさのダイヤグラム」をもとに90歳のおばあちゃんの楽しみを広げた事例。「おばあちゃんパワー」を発揮した結果、多くの人の楽しみが広がり、個別課題、地域課題の解決につながった。

3) 「支え合いマップで民生委員の引継ぎを」 前白幡地区民生委員児童委員協議会 会長 嶋津 三四子 氏

民生委員を退任する際、それまで取組んでいた住民支え合いマップを引き継ぎに使用。約50世帯ごとに6ブロックに分け、マップとマップをデジタル化した資料を使用し、引継ぎを行った。

4) 「井戸端会議からあおぞらサロンへ」 菅田地区民生委員児童委員協議会 倉石 芳枝 氏

マップ作りから生まれたあおぞらサロンでは、認知症の方がスタッフとして協力していたり、引きこもりの方が居場所ができたと通うようになったり、住民の隠れた特技や能力が発揮されたりと大きな成果が生まれている。

②鼎談 登壇者地区（三ツ沢地区）について

三ツ沢地区では、全民生委員が支え合いマップ作りに取り組んでいる。その中で、民生委員全体の意識が変わり、「フォワードからミッドフィルダーへ」の意識が定着している。その意識は民生委員活動にも活かされており、民生委員が後方支援に回る事例も生まれている。

③シンポジウム 取り組みの紹介

東急片倉町内会 会長 湯澤 徹郎 氏 片倉地区民生委員児童委員協議会 渡邊 典子氏

町内会内での見守り、支え合い活動を進めるために、班長を対象に数年をかけ、マップ作りに取り組んだ。その結果、班長の意識が高まった。また毎月、ふれあい訪問員（世話焼きさん）を中心に渡邊民生委員も参加して情報交換を行っている。この取り組みを通して、渡邊民生委員の活動は、世話焼きさんと班長からの情報を通して、きめ細かな活動が展開されている。

三ツ沢地区民生委員児童委員協議会 中川 和子 氏

支えあいマップ作りによって様々な近所活動、住民同士の助け合いを知ることができた。そのことにより、民生委員は一步下がり、「フォワードからミッドフィルダーへ」を目指している。

大口七島地区民生委員児童委員協議会 会長 今井 典代 氏

今年度よりマップ作りに取り組んだ地区。認知症の妻を介護する夫がDVをしてしまうことに悩んでいた、古いアパートに住む男性一人暮らしが多いことが分かる等、様々な課題が新たに浮き彫りになった。